

## 株式会社 K U L、SDGs 達成に向けて

## エネルギー使用量の削減を推進

～既存設備の運用改善による省エネソリューションで、環境負荷とコスト削減を実現～

株式会社 K U L（本社：大阪市中央区本町 代表取締役：吉田 滋）は、エネルギー使用量の削減を積極的に進めています。特に 2021 年 7 月からは、自社が管理・運営する大型商業施設 4 物件において「エネルギー効率最適化コンサルティング」を導入し、大幅なエネルギー使用量の削減を達成しています。

当社は「省エネ法（エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律）」における特定事業者該当し、定期報告評価制度では制度開始以来 9 年連続で最高評価の S ランクを獲得。今年度も S ランク評価の見込みです。



当社の既設設備



太陽光発電の取り組み P R (イメージ)

## ■ 設備投資なしでエネルギーの大幅削減を実現

当社はこれまで積極的に省エネに取り組み、商業施設の照明 LED 化や高効率空調機への更新等、エネルギー使用量の削減を続けてきました。しかし、省エネには一定の投資が必要で、費用対効果が低い施策は積極的に取り組みにくいという課題がありました。

そこで 2021 年 7 月から、株式会社ファイナルゲート（本社：東京都目黒区上目黒 代表取締役：大迫 康広）のサービス支援を受け、既設設備の運用改善による「エネルギーフロー全体の最適化」という、新たな視点での省エネに着手しました。

導入の決め手は、

1. 新たな設備投資が不要
2. サービス対価が成果報酬型

という 2 点です。

既存設備の運用見直しやパラメータ設定変更といったチューニングによって省エネを実現する仕組みで、過去の導入事例では平均 22.1% のコスト削減効果が実証されていました。

成果報酬型のため、実際に削減できたエネルギーコストの一部を報酬とするスキームであり、成果が出なければ費用は発生しません。結果として、当社は**コスト削減**という**経済的価値**と**エネルギー使用量削減**という**環境的価値**の両方を得ることができました。

## ■ K U L のカーボンニュートラルと SDGs 達成への貢献

近年、環境問題への関心の高まりを背景に、企業の ESG（環境・社会・ガバナンス）への取り組みが重視されています。2050 年カーボンニュートラル実現に向けて、日本は「2030 年までに温室効果ガスを 2013 年度比で 46%削減」という目標を掲げており、企業にとって CO<sub>2</sub>排出量の削減は急務となっています。

当社も環境意識の高まりを受け、2024 年度には再生可能エネルギーの積極的導入を進め、年間約 50 万 kWh の電力を自社施設の太陽光発電設備で発電しています。また、GHG 排出量をクラウドで管理するシステムを導入し、事業全体の CO<sub>2</sub>排出量を「見える化」しています。



エコール・マミ（奈良県北葛城郡広陵町）



エコール・ロゼ（大阪府富田林市）

## ■ 地域社会と共に成長する新たな取り組み

当社は 2022 年 10 月 1 日から、株式会社ファイナルゲートと協働し「エネルギー効率最適化コンサルティング」の紹介・マッチング支援を開始しました。主に商業施設などのアセットを保有する企業や自治体を対象に、共通するエネルギー課題の解決に取り組んでいます。

「お客様の"今"に向き合い、お客様が必要とする価値を提供し、未来に向かって成長します」という企業理念のもと、地域社会と共に成長することを目指す当社にとって、本サービスの普及は環境貢献度（Scope4）を高め、持続可能な地域社会の実現に向けた取り組みです。

本サービスにご興味のある方には、詳細説明と診断を無料で実施しております。この機会にぜひお問い合わせください。

当社は今後も、地域全体のエネルギー効率化と環境負荷低減に貢献し、持続可能な社会の実現を目指します。

## サービス概要

- サービス名：エネルギー効率最適化コンサルティング
- 対象：エネルギー課題を抱える企業（不動産業、小売流通業などのアセット保有企業全般）、自治体、学校法人など
- 特徴：  
1. 初期投資不要の成果報酬型モデル  
2. 館内の快適性を維持しながら既存設備を最適化  
3. 平均 22.1%のエネルギーコスト削減効果  
4. CO<sub>2</sub>排出量削減による企業価値向上

## 会社概要

会社名：株式会社 K U L

代表者名：代表取締役 吉田 滋

所在地：大阪府中央区本町四丁目 3 番 9 号 本町サンケイビル（19 階）

事業内容：地域社会における施設その他居住者等の利便に供する施設の建設、経営又は管理

H P：[株式会社 K U L \(kul.co.jp\)](http://kul.co.jp)

## 本件に関するお問い合わせ先

メディア様：株式会社 K U L 広報室（担当：遠藤、藤田）

本サービスに関するお問合せ：〃 G X 推進室（担当：米田<sup>こめだ</sup>）

電話番号：06-6245-5050